

ARENEWS

筑波大学先導的研究者体験プログラム(ARE)とは、学群1～3年生対象の研究者生活をリアルに体験できるプログラムです。

2013.10 No.3

●全学群1～3年生に募集対象を拡大!

今年度は2回募集を行い、31件(1回目 27件、2回目 4件)の応募がありました。うち30件の研究課題が採択されました。今年度から全学群に所属する1～3年生が対象となり、人文・文化学群から3名の学生が参加することになりました。

■平成25年度認定書授与式

8月29日(木)に1回目の募集で採択された学生を対象に認定書授与式を行いました。授与式後の交流会では他学群の学生と異分野交流をはかり、ときには、研究について熱く議論する姿も見られました。



認定書授与式の様子

採択課題等、詳細は内面をご覧ください。

●来年度の応募を検討している方へ…

研究者入門Ⅱでは研究計画書の書き方を学べます。

来年度の応募に向けて授業を通して準備をしませんか?

授業実施日

10/22	科目の説明、研究計画について
10/29	共同研究の進め方
11/12	論理的な文章の書き方 1
11/26	論理的な文章の書き方 2
12/03	論理的な文章の書き方 3
12/17	モデル構築、実験方法の立案
12/24	図表の作成方法
01/07	統計解析について
01/14	研究計画プレゼンテーション 1
01/28	研究計画プレゼンテーション 2
02/04	予備

【オフィスアワー】 研究交流室(3B205)

■研究入門Ⅱ(秋ABC 集中)

科目番号: FA00 237

曜時限: 火6

教室: 3B303

授業概要: 研究者に必要とされる能力(論理的な文章の書き方、研究計画書の書き方、図表の作成方法、統計解析の方法等)について分かりやすく説明する。実習では講義に関連した課題を解き、受講者間で意見交換も行う。さらに、自分の研究計画と方法をまとめ、発表することで、研究遂行に必要な技術を習得するとともにコミュニケーション能力を伸ばす。

IMAGINE
THE
FUTURE.



筑波大学
University of Tsukuba

H25年度 申請および採択件数

申請31件、採択30件(32名)

【募集区分】 S：50万円以下、A：20万円以下、B：10万円以下、C：5万円以下、奨励：0円

【募集期間】 7月8日(月)～7月15日(月)、追加募集 8月26日(月)～9月2日(月)正午

募集時期毎の申請及び採択件数

7月募集(申請件数：27件、採択件数：26件)28名

申請件数：種目S：0件、種目A：2件、種目B：13件、種目C：10件、種目奨励：2件

採択件数：種目S：0件、種目A：1件、種目B：13件、種目C：11件、種目奨励：1件

追加募集(申請件数：4件、採択件数：4件)4名

申請件数：種目S：0件、種目A：0件、種目B：2件、種目C：2件、種目奨励：0件

採択件数：種目S：0件、種目A：0件、種目B：1件、種目C：3件、種目奨励：0件

所属別参加学生数				
所 属	全学年	1 年	2 年	3 年
人文・文化学群	3 (人)	0 (人)	0 (人)	3 (人)
人文学類	3	0	0	3
生命環境学群	16	6	4	6
生物学類	8	2	2	4
生物資源学類	4	0	2	2
地球学類	4	4	0	0
理工学群	8	4	3	1
物理学類	3	3	0	0
化学類	1	0	1	0
応用理工学類	3	1	1	1
工学システム学類	1	0	1	0
情報学群	5	0	3	2
情報科学類	4	0	2	2
情報メディア創成学類	1	0	1	0

採択課題一覧	
A	System F の形式化とその強正規化定理の構成的証明 情報学群 情報科学類 3年 坂口和彦
B	日本語文黙読時における音韻変換の有無と事象関連電位の相関性について 人文・文化学群 人文学類 3年 川邊貴英
B	津波常習地における集落移動と地域変化に関する歴史地理学的研究 人文・文化学群 人文学類 3年 辻本侑生
B	トゲアリ, <i>Polyrhachis lamellidens</i> , の生息数減少を引き起こす要因の解明 生命環境学群 生物学類 1年 井戸川直人
B	リターの分解段階及び植物相とササラダニ群集の相互関係の解明 生命環境学群 生物学類 1年 矢野更紗
B	クリプト藻類におけるセレン有無での代謝の変化 生命環境学群 生物学類 2年 丹野晶博
B	ナミアメンボの性成熟 生命環境学群 生物学類 3年 高橋玄

B	ヌートリアの四肢長骨における骨端閉鎖順序について 生命環境学群 生物資源学類 2年 守屋恵美
B	線虫におけるメチオニン回路代謝産物の定量とヒストンメチル化の解析 生命環境学群 生物資源学類 3年 徐照
B	Optogenetic and Thermogenetic Analysis of Olfactory Associative Memory in Drosophila Melanogaster Larvae 光および熱遺伝学によるショウジョウバエ幼虫における嗅覚連合記憶の解析 生命環境学群 生物資源学類 3年 李其育
B	遠洋性粘土岩に地震性すべりの痕跡を探る 生命環境学群 地球学類 1年 木下貴裕, 田中基成
B	粒子線治療における体内元素の放射化とその影響に関する研究 理工学群 物理学類 1年 出口裕佳
B	1,3,5,7-テトラアザクバンの全合成 理工学群 化学類 2年 薄葉純一
B	非線形分光イメージングを用いた生細胞内における活性酸素の可視化 理工学群 応用理工学類 2年 山田慶春
B	プレーナー型の微細化MOS型シリコントランジスタ中の結晶欠陥の評価 理工学群 応用理工学類 3年 栗飯原有輝
C	ハンセン病療養所入所者の生活史と「語り」: 栗生楽泉園の事例から 人文・文化学群 人文学類 3年 桜木真理子
C	Inhibitory Effect of Caffeic acid and its Derivatives on Oxidative Stress in Human Epidermal Melanocyte ヒトメラニン細胞における酸化ストレスを抑制するカフェ酸およびカフェ酸誘導体の探索 生命環境学群 生物学類 2年 MAEZONO SAKURA ERI BAUTISTA
C	キイロショウジョウバエのPPRドメイン遺伝子の生体内機能の解明 生命環境学群 生物学類 3年 井村英輔
C	静岡県下田沖における植物プランクトン群集組成の動態 生命環境学群 生物学類 3年 岡崎拓未
C	異種の分裂酵母を利用した細胞質分裂の分子基盤の多様化の理解を目指した研究 生命環境学群 生物学類 3年 森田陸離
C	低圧環境における樹木発根実験の計画—マメザクラ(<i>Prunus incisa</i>)の挿し木を用いた検討 生命環境学群 生物資源学類 2年 阿部友亮
C	RFIDタグを用いた砂粒子の移動プロセス 生命環境学群 地球学類 1年 小川万尋
C	首都圏新都市鉄道開業に伴う筑波山観光地の景観・経済的な変化 生命環境学群 地球学類 1年 川添航
C	BNCTの即発γ線検出器における位置検出非線形性の補正マップ作製と検証 理工学群 物理学類 1年 武田潤
C	陽子線治療の治療計画に特化されたユーザーインターフェイスの研究 理工学群 物理学類 1年 吉田英隆
C	力覚提示を用いた視覚障害者補助デバイスの開発 理工学群 工学システム学類 2年 河原圭佑
C	P2Pネットワークを用いた分散ストレージの開発 情報学群 情報科学類 2年 桐井祐樹, 田野井優斗
C	形式化された量子計算とそれによる物理系の表現 情報学群 情報科学類 3年 薄井千春
C	単純モデルによるリアルタイム音楽的コミュニケーションメカニズムの調査 情報学群 情報メディア創成学類 2年 青木海
奨励	発展途上国のための自然エネルギーのみで作動する淡水化装置の開発 理工学群 応用理工学類 1年 PARK JIN SU

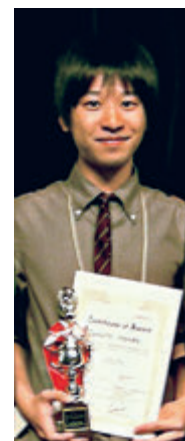


先導的研究者体験プログラム(ARE)に関するご質問ご相談は上記事務局にお問い合わせください。

ARE修了生 本多隆利氏が International Workshop on Science and Patents (IWP) 2013にて Distinguished Presentation Prize を受賞

(受賞日: 2013年9月6日)

ARE修了生のヒューマンバイオロジー学位プログラム(文部科学省 博士課程教育リーディングプログラム)1年本多隆利氏が、平成25年9月6日に本学の大学会館にて開催された International Workshop on Science and Patents (IWP) 2013にて“International of Associative Olfactory Memory by Targeted Activation of the Memory Circuits in Drosophila Larvae”と題した発表を行い、Distinguished Presentation Prize を受賞しました。



●第3回サイエンス・インカレ(文部科学省主催) 発表学生の募集開始

「卒業研究に関連しない研究」「卒業研究に関連する研究」どちらも応募できます!

「サイエンス・インカレ」は全国の自然科学系の学部生等に、自由な発想に基づく自主研究を発表する場を設けることにより、その能力・研究意欲を高めるとともに、課題設定能力、課題探究能力、プレゼンテーション能力等を備えた創造性豊かな科学技術人材を育成することを目的としており、多分野にわたる学生、企業関係者、研究者などとの交流も深められる大会です。

応募期間: 平成25年10月1日(火)～11月14日(木) 17時まで

募集分野: 自然化学系の全分野(①数物・化学系、②工学系、③生物系、④情報・融合領域系の4分野に区分して募集)

発表部門: ①～④の分野ごとに「口頭発表」と「ポスター発表」の2部門

応募資格: 大学1～4年次(短期大学1～3年次を含む)の学生、高等専門学校4～5年次の学生、高等専門学校及び短期大学の専攻科の1～2年次の学生

応募人数: 個人または最大3名のチーム

大会会場: 幕張メッセ国際会議場

大会日程: 平成26年3月1日(土)、2日(日)

URL : <http://www.science-i.jp/>

詳細はサイエンス・インカレのホームページをご覧ください。

